

くまもと県振連だより

# タミアス Ταμιας

Vol.

2016.3

53

「タミアス」はギリシャ語で「店主」の意味。「くまもと県振連＝熊本県商店街振興連合会」は店主の元氣をつくる組織です。

## 特集：商店街のひなまつり

### 人吉はるかぜマラソン!!

### 商店街を走り抜ける！

平成28年2月21日(日)開催



ひなまつりで賑わう商店街や国宝青井阿蘇神社、  
日本三大急流球磨川を眺めながら走る人吉はるかぜマラソン!!  
商店街の沿道での声援がとても力になる!!

## 牛深商店街振興組合新理事長に 鶴田 修三氏 就任！

### 『可能性の多い牛深に期待する』



牛深商店街(振)  
理事長 鶴田 修三

「日本食」の再評価により、出汁への関心が深まったと思います。魚系の出汁は鰹節とサバ、イワシなどの雑節に区分されていますが、鰹節は静岡清水が日本一ですが、雑節は熊本牛深が日本一なのです。牛深の水産業は大変な活気があります、サバ、イワシなどを湯がいた後に乾燥、煙に架け燻製にします。

牛深では「コカシ納屋」と呼ばれている加工工場の煙突からは燻製のための薪の煙が勢いよく出てきます。しかも、何軒もの加工工場が並んでいますから壮観です、これぞ牛深の原風景を見る思いがします。

また、ブリ、タイ、カンパチなどの生産とフユレ加工、真空パック技術向上により国内だけでなく、海外にも展開されています。

数社が活躍中で、水産加工業、フユレ加工業ともに、後継者に恵まれていますので素晴らしいことです。農業も柑橘系を中心に若い後継者の頑張りが期待できます。さて、私たち商店街振興組合ですが、小売業が大変厳しい状況下にありますが、後継者がいます、頑張っています。牛深にはまだ良いものが残っています、可能性も生まれようとしています、

私たち親会は、後継者にちゃんとバトンを渡すまで、今一度頑張ってみましょうか、きっと楽しいこともあるでしょう。

## 熊本市上通五丁目商店街振興組合新理事長に 大森 健弘氏 就任！



熊本市上通五丁目商店街(振)  
理事長 大森 健弘

去る2月22日上通五丁目商店街振興組合の総会にて、理事長に就任しました大森健弘です。

県振連では、前土師会長の時より専務理事として携わらせて頂いておりますので、多少なりともご縁をいただいた方々も居られると思います。

上通商店街は4つの振興組合で構成されており、また古くから在り歴史が感じられる商店街で、100年を超える老舗も多数存在することでも有名です。

そのような商店街の一角を担う振興組合の理事長を任されたことは、大変名誉なことでありその重責をひしひしと肌で感じているところです。

上通五丁目振興組合は前布田理事長の元、安心安全楽しい街づくりを進めてまいりました。私はそれを継承するとともに、少しずつ私のカラーを出していければと思っています。五丁目は市現代美術館をはじめ、びふれす広場、紅蘭亭パビリオン、イーストンビル、村上屋ビル、トラヤビル、といったアーケードだけではなく、東西に広がる独特の構成を配しています。この様な独特な特徴を生かし、ドラマチックな街づくりが出来ていければと考えています。

今後理事長として県振連では、専務理事の任に当たり励んでいきたいと思えます。何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

# タミアスレポートⅠ

## 平成27年度 商店街女性部活性化事業女性部研修会

～出会う人に好印象を与える「フェイス・コミュニケーション」～

日時：平成28年1月14日（木）

場所：県民交流館パレア



本町一丁目商店街（振）  
女性部長 鎌先 葉子

美と健康のセラピストとしてサロン経営や医療機関・福祉施設などでご活躍されている、ホリスティックヒーリングスペースエスプリ代表 岩永 恵美子氏を講師に迎え、県振連女性部研修会が開催されました。

最初に2グループに分かれ、「チャンスを生かして運をつかむ」ことにもつながるという漢字のビンゴゲームで和気あいあいとなったところで「出会う人に好印象を与えるハッピースマイル」についてお話が始まりました。

「顔は心の鏡」、仕事つまりお金・人間関係・身体の状態等の外的要因で顔は変化する。本人の心がけしだいで良い顔にすることができる。顔は年をとるのではなく成長するのです。との心強い言葉もありました。

良い顔になるためには、「仕事を好きになる・人間関係では中庸を保つ・コミュニケーションでは相手の望むことをしながらも自分も満足できる関わりかたをする」等が必要とのお話があり、顔型・目・眉・鼻・口・耳・肌それぞれの形状の意味することと、それらをより良く印象づけるための方法についても説明していただきました。

他に、筋膜体操や顔の筋肉を強化してシワを予防する＜アイウホ＞口運動の実技、ハッピースマイルのためのメイクのご指導等、楽しくて沢山の知恵を頂いた講義でした。

これから、今回ご指導いただいた事を心にとめて、ハッピースマイルでお客様をお迎えしたいと思います。



フェイス・コミュニケーションとは！



＜アイウホ＞口運動の実施中！



## タミアスレポートⅡ

# 平成27年度 商店街青年部活性化事業青年部交流会

2016年2月23～24日の二日間で愛媛県松山市へ訪問しました。松山市は、愛媛県の県庁所在地で、人口が50万人を越え四国地方で最も人口が多い都市です。私は、松山へは初めての訪問でしたので、どんなところなのか、胸をおどらせながら参加させていただきました。松山に到着しましたら、空港から中心部までも30分かかるくらいでした。中心部は、松山城を中心とする城下町で、想像していた以上に都会でした。路面電車なども走っており、熊本の街と同じような雰囲気を感じました。



下通繁栄会青年部  
部長 松藤 太門

最初に中心部から20分ほど路面電車にゆられながら道後商店街へ向かいました。そこで、道後商店街の青年部の方々の取り組みについてお話を伺いました。道後商店街の青年部は6名で構成され、3年前ぐらいから活動がはじまりました。もともと婦人部のおかみさんなどの女性の活動が活発であったが、高齢化など影響もあり、なかなか思うような活動ができていなかったそうです。また、道後商店街の目玉となる道後温泉の本館が、2017年より改修工事をおこなう予定となっており、改修に7～10年かかるとのことから、危機感を覚え、この危機をどう乗り越えてゆくかということから、青年部が立ち上がったということでした。道後商店街の青年部では、2本の矢の構想があり、観光資源である、道後温泉にたよりきらないまちづくりへの取り組みをおこなっています。具体的には、道後温泉玉音頭「BONダンス」と、「おもてなし商店街」です。「BONダンス」とは、オリジナルの盆踊り風なダンスで、地元のお寺に生まれた一遍上人の「踊り念仏」が全国でおこなわれている盆踊りの元祖と言われているそうです。しかしながら、道後には盆踊りがなかったそうで、そういった歴史をきっかけに道後オリジナルのBONダンスを考案したとのことでした。イベントなどで商店街に集客をし、最初は「若い奴らはなにをやってるんだ」という批判的な意見もあったが、やりつづけたことで、少しずつ輪が広がり、昨年は、道後温泉本館を700名を超える人で囲んでBONダンスのイベントで街が賑わったとのことでした。今後はBONダンスを通じて愛媛県、道後の魅力を全国に向けて発信し、あらたな観光客を獲得してゆき、商店街に来られたお客様におもてなしの心をもって接してゆきたいという考えで活動がされているということでした。

続きまして次の日に、松山銀天街のまちづくりについて、理事長の加戸さんにお話を伺いました。加戸さんは、30代前半という若さで振興組合の理事長、まちづくり会社の社長という立場で、まちづくりに携わられております。



道後商店街入り口にて！

昨年、県振連の研修で熊本でご講演をいただきまして、2回目の拝聴でしたが、様々な情報、データを基に考えを持って、まちづくりを経営的な視点をもっておこなってゆくという事を、実践されておりました。2つの商店街の若い世代の方にお話を伺って、松山での若者の活躍に刺激を受け、自分自身も熊本のために何ができるのだろうかと考えさせられました。今後も自分たちの街をもっと好きになって盛り上がりゆくように活動をおこなってゆきたいと思います。

# タミアスレポートⅢ

## 第2回全国商店街青年部指導者研修会

平成28年2月4日～5日にアルカディア市ヶ谷にて、全振連青年部指導者研修会が開かれました。今回は、『超小型モビリティカーシェアリングとまちづくり』について株式会社安城スタイルの事務局長深谷政信氏にお話を頂きました。深谷さんは以前愛知県連の青年部長として活動されており今はまちづくりの安城スタイルの事務局長として活躍されており、今回その中の取組としてカーシェアリングの話聞かせて頂きました。安城スタイルとは、基本的にまちづくり会社で都市活動に行政、企業、商業者、地域住民からも投資をして頂き、4つの目標・①安城ブランドの確立（地域資源活用事業）②商業活性化とにぎわい創出（経済循環構築事業）③都市空間と交流機能の充実（まちなか管理運営事業）④市民民間の参画機会増加（まちづくり協働事業）を基本目的に、観光案内、図書館サービス、フリースペース運営、中心市街地活性化事業の推進、き～モビ運行事業などが普段の事業です。その中のき～モビ事業について話を聞きました。これは小型の電気自動車を会員制のカーシェアリングして主要駅周辺の35箇所で展開拠点から買い物や観光商業へと利用してもらい、宣伝活動に利用してもらっています。カーシェアリングと商店街との取り組みとしては、会員を増やして特典の充実（地域通貨、宅配事業、スタンプ事業、メール配信）などに活用してもらえようように今後の展開を考えていくそうです。

もう一つは、『地域ブランドと商店街』ブランド総合研究所代表取締役田中章雄氏に話をしてもらいました。この方は秘密のケンミンshoe『魅力度ランキングの衝撃』などの都道府県ランキングを研究し番組内でも順位などを発表し、どの地区の方がどこの都道府県に興味があるのかを数字化して何に興味があり何を求めているのか、首都圏から見た魅力あるものと地方から見た他の都道府県への魅了など地域、地域で見方の感覚も違うのがよくわかりました。発想に転換が必要、いちごジャムならありきたりですが、紅茶専用イチゴジャムにすることで女性から爆発的な人気を出す。加工品の直売など、ブランディングには多くを出さず一つを出すことが重要、商品だけでなく商店街関係でもブランディングはできる。繋がりで商品化を進めたりできると思いますとも話しておられました。



全振連 青年部 指導者講習会

二日目は、グループディスカッションがあり各地区のわが町自慢や悩みなどをグループで話し合い発表してもらいました。どの地区でも共通の悩みとしては後継者問題、それに伴い街がさびれてゆく、これに関しては前向きな意見も出ており、二代目三代目を考えるのではなく街でいろんなことをやりたい人へ誘致したり自店の仕事をやってみる人に継承したりとできることは色々あるはずだと意見も出ました。悩みはない前向きに若いもので協力しながら活性化を進めていますとの意見も多く出ました。後ろ向きな考え方で話す前に進む話ができるようにして活性化に繋げていくことが大事ではないかと想いました。



熊本県振連  
青年部長 井川 正宏



講師 株式会社安城スタイル 事務局長 深谷政信氏

## タミアスレポートⅣ

### ◆八代(本町1.2.3丁目 通町)商店街と意見交換会◆

県振連副会長 田尻 恭久

2月16日の午後7時より八代のいけす宗弘におきまして、県振連から山田会長をはじめ4名、八代からは7名の方に参加いただき県振連の役員と八代の各商店街の理事長の皆様と交流会を実施しました。

まず山田会長のご挨拶から始まり現状の各商店街の問題点などを話し合うことができました。美味しい料理を食べながら有意義なお話ができ、今後とも交流をはかりながらお互いの問題点を共有していくことを確認し、釧羽副会長の締めで閉会しました。



山田会長の挨拶から始まる！

### ◆本渡中央商店街・牛深商店街と意見交換会◆

県振連副会長 釧羽 逸朗

3月8日(水)午前10時、山田会長・大森専務理事と共に県振連事務所を出発、濃霧注意報が出ている中ではあったが予定通り12時前に本渡に到着し昼食を取った後、本渡中央商店街に入った。

本渡中央商店街より松岡理事長・平山副理事長・板垣副理事長・松下専務理事・戸澤前理事長の5名の出席があり、松岡理事長の挨拶から始まった。挨拶の中で近年間口の広い店舗が数店閉店し収入も減っている。また後継者問題も大きな課題で大変苦慮しているとの事であった。しかしその様な中でも近年百円商店街事業を行っていて、次回4月2日(土)は市の主催により本渡中央商店街において百円に拘らず百円・五百円・千円のワゴンセールを開催する予定で大変期待をしていると前向きな内容もあった。続いて山田会長の挨拶があり、県振連の事業ではないが商工会議所に3分の2補助の小規模事業者持続化補助金という助成事業があるので是非、利用して戴きたいとの情報を含む挨拶がなされた後意見交換に入った。

内容としては、地域の行事と後継者の関わり、空き店舗対策等、多岐にわたり予定の1時間30分をオーバーし意見交換会を終えた。

午後3時過ぎに本渡を出発、牛深との意見交換会のため10分前に会場である商工会議所に到着した。牛深商店街振興組合より鶴田理事長他8名の出席を戴き意見交換会を始めた。内容としては「商店街の日」についてが主で、牛深賞として地元のお買い物券より多くの皆さんに牛深の特産品を知って頂きたいと考え3,000円分の牛深海産物を25個賞品として出している



年に一度の本渡、牛深、県振連との親睦会

が送料として1個1,400円かかっている負担になっている。この送料を考えると戴けないかとの相談内容や、ある個店ではハガキの回収を自分の店で行い抽選で商品を出している、これを合わせ商店街・県振連での抽選を行なっているのでお客様には3回チャンスが有り大変喜ばれている。他のお店もこのようにすれば売り上げに繋がるのではないかとの意見も出された。活発な意見交換が行われ有意義な意見交換会であった。

※2016年牛深ハイヤ祭は4月15日(金)~17日(日)の予定で開催される予定です。

# マッチフラッグ

日比野克彦プロデュース  
アジア代表日本マッチフラッグプロジェクト  
in 熊本下通商店街



下通繁栄会事業部  
前原 孝志郎



皆様の思いをたくさん込めた  
マッチフラッグワークショップ

2008年熊本から始まったサッカーとアートの融合、そして対戦する相手国の文化を知るマッチフラッグ。今回は2018年サッカーW杯ロシア大会のアジア予選からプロジェクトが始まりました。太宰府天満宮を拠点とし、本大会に日本代表が進むならば、それはアジアの代表であるという理念のもとに各地でワークショップを開催しております。

今回下通で製作したものは、3月末の埼玉スタジアムで行われるアジア2次予選2試合のフラッグでした。

日比野さんが直々に下絵を描かれた内の一枚に、熊本城の石垣「武者がえし」をイメージしたデザインがあり、熊本らしさを表現していただいた事に喜び、またそのフラッグが当日揺れる事を想像するとワクワクします。

もちろんそのワクワクは、当日ワークショップに参加した下通を歩く家族連れや学生さん、外国人観光客も同じでしょう。そんなワクワクするまちづくりや下通の魅力発信に、これからも取り組んでいきたいと思えます。



# アートプレックス

STREET ART-PLEX KUMAMOTO  
大道芸2016



熊本市新市街商店街振興組合  
原野 信二

ストリート・アートプレックス・クマモトとは、市民、表現者、行政が一体となり、多様で高質な都市文化を生み出すコミュニティプロジェクトです。年間を通じて様々な催しを行っていますが、毎年3月は大道芸を行っています。

今年も12日(土)13日(日)、市内中心商店街の各所で大道芸2016が開催され、たくさんのお客様にご来街していただきました。全国からジャグリング、パントマイム、キャラクターショー等の大道芸パフォーマーが集まり、街中が笑いに包まれた楽しい2日間となりました。

このような催しを継続することで、街中ではこんな楽しいこともあるとその魅力を再発見していただき、来街者の増加につながれば良いと思えます。



大道芸人たちのパフォーマンス

# 特集 商店街のひなまつり

## 【本町一丁目おかみさん会】

ざぼネーゼ 会長 鋤崎 葉子

2月13日から3月6日まで開催された「城下町やつしろのお雛祭り」では、本町一丁目は、女性部の手作り作品でお客様をお迎えました。アーケードには、手作りのぼんぼりと千代紙人形や保育園児の作品、各店頭にもさげもん和様々な雛人形が飾られました。空き店舗を利用した「お雛会場」には千代紙人形約1000体やうさぎの人形約100体を季節ごとの行事をテーマに飾り、様々な年代の雛人形も会場に華をそえました。会場では、数に圧倒されて「ワー！」と声を出される方や、ひとつひとつじっくりと見られる方など雛飾りを楽しんでいらっしゃいました。また、女性部によるお茶と菱餅を模したゼリーでのおもてなし（期間中の土日と3月3日）や、「手作り・スキルアップ教室」など、来年もぜひ行ってほしいとの声もあり、来街された沢山の方々に喜んでいただけたようです。



## 【本町二丁目おかみさん会】

レインボー 会長 高岡 薫子

今回で14回目の開催となりました城下町「やつしろ」のお雛祭り。商店街では「琴姫通り」と題し、「お休み処」を設け、各商店街趣向を凝らした飾り付けや、手作り作品の展示、お茶の接待等心のこもったおもてなしで来街者の皆様をお迎えました。

期間中は、お雛飾り手作り教室やお茶四流派の雛さくら茶会等盛りだくさんの内容でした。



## 【本町三丁目おかみさん会】

むつみ会 会長 山本 節代

八代のひな祭りは13回目になります。三丁目は会場内にひな山の展示を始めて12回目になりました。今年も山浦理事長、沖田、山園理事は朝早く、五木、泉方面へ一日かけて苔採りです。その後が大変です。毎日、夜の作業が続き完成しますが、その後、期間中、苔・花々の水やりの管理があります。ひな山の人形たちも本当に可愛いですよ。三丁目の会場は、他の町内に比べると、理事の方の協力なくして成り立ちません。とても古い室内です。おかみさんたちも早い時期から柳の木を確保して餅つきをして餅花を作ります。会場の作業も每晚5日間は続きました。展示場には七段飾り、沢山のPATCHワーク、ひな人形の焼き物、可愛い着物、ターシャテューダーの人形展示、小物の展示販売等、餅花を会場いっぱい飾り、楽しい会場になりました。絵手紙、苔玉作り教室、手作りぜんざい販売も大勢のお客様で賑わいました。毎年、ひな山展示は大好評です。事務員さん初め皆様の協力に感謝です。





## 【通町おかみさん会】

ピーチクラブ 代表 堀口 幸子

今年は入口に坂本町木々子地区の伝統文化の七夕飾りで皆さんをお迎えし、賑やかなスタートしたお雛祭り…

私たち通町商店街の会場では、おかみさん方が一年がかりで作あげた下げもんがずらりと飾られ、それは見事で華やかで…そこに居るだけで自然と笑顔になれる空間です。ここでは、おかみさん方の手づくり作品や小物・パッチワーク・可愛いお雛飾りなど販売。また、お茶の先生方のご協力オリジナル和菓子付きのお抹茶（有料）をお出ししてご来場のお客様に好評で喜んでいただきました。準備は大変ですが、期間中はおかみさん達と一丸となって毎日反省会をして意見を出し合い乍らも結構楽しくやらせていただきました。今年は今までにない最高の来場者数でした。嬉しいことです。お雛祭りは終わったばかりですが、通町のおかみ一同次年に向かってもうスタートしました。



## 【人吉東九日町女性の会】

トークタウン 代表 宮山 まゆみ

「人吉球磨はひなまつり」は今年で19回目を迎えます。19年前、九州の「春夏秋冬キャンペーン」の春の行事として、東九日町振興組合（トークタウン）女性の会とホテルや旅館のおかみの会「さくら会」が協賛して相良村の専徳寺（現在休み）のおひな様を見学され、人吉の町へ立ち寄られるお客様方のおもてなしとして、通りの店のウィンドーにおひな様を飾り、九州で一番早い「おひな祭り」を開催致しました。（2月1日～3月21日迄）女性の会は空き店舗対策として、閉店のお店のオーナー様にお願いしてシャッターを開ける事を快諾して頂き、全員でおひな段を並べ、お茶処おひな庵を開設しました。現在5人のメンバーでちりめん細工のお土産コーナーを設置し、お客様へお茶とホット梅酒でおもてなしを行っております。尚、おひな祭りの期間中の最大のイベント（3月6日日曜日）「きものぶらり歩き」等も企画し、写真撮影やパフォーマンス、商工会議所女性会がぜんざいのふるまい、さくら会のお呈茶等協賛して頂き、今年も頑張っ活動しています。



## 【下通繁栄会女性部】

城下町くまもと肥後のひなまつり 実行委員長 高柳 和

第8回「城下町くまもと肥後のひなまつり」は2月26日（金）～3月6日（日）までの10日間、下通商店街を中心にして開かれました。特に今年は、旧ダイエー（エッグ前）を中心に七段ひな飾りを30メートルにわたり並べて、中央には、高さ3メートル余りの14段ひな飾りをかざりました。

14段のひな飾りの中に設けられた写真撮影のための撮影スポットは特に人気で、週末にはカメラ片手の順番待ちの行列が出来るほどの人気でした。また、それを囲む「草心流」の圧倒的な竹の装飾や、野の花の数々、かぐや姫の物語、その他にも今年初お目見えの野菜雛、御殿雛などのまちの風景再現、イベントでは、留学生たちも参加した十二単衣体験試着会、お茶のふるまいなど10日間の期間中、市民、観光客で大いに賑わいました。



# コラム

## 商店人語

## 街なか思い出

### 駕町通り今昔

「駕町通り」のネーミングが生まれたのは平成4年にアーケードの完成に併せて一般市民の皆様へ新しい名称を公募したところ約千通くらいの応募がありその中から城下町のイメージにふさわしいという基準をもうけ数点あった応募作の中から「駕町通り」が選ばれました。命名する際、も



駕町通りアーケード完成

ともこの一帯は蓮政寺丁、楠丁、駕丁と三つの地名にまたがっていたので駕丁だけが名前を占有すると、ほかの地区の方がいやな思いをされる。それならば「駕町通り」としたほうがいだろうと昔の三つの丁名が一緒になって駕町通りにすることになりました。また、この地域一帯は古くから「高田原（こうだばる）」と呼ばれていました。代継神社の神田だったところですがもともとは神田原（かみたばる）といっていました。やがて神田が「こうだ」となり高田の字を充てるようになったと言われています。城下町として整備されていくのに伴って、人々の職分も細かく決められ職種または役目ごとに同じ場所にいたほうが便利のため同じ職分の人が一ヶ所に住まわせられました。丁は武士が住む地区、町は職人が住む地区として区別して整備されたのです。

もともとは神田原（かみたばる）といっていました。やがて神田が「こうだ」となり高田の字を充てるようになったと言われています。城下町として整備されていくのに伴って、人々の職分も細かく決められ職種または役目ごとに同じ場所にいたほうが便利のため同じ職分の人が一ヶ所に住まわせられました。丁は武士が住む地区、町は職人が住む地区として区別して整備されたのです。



熊本市駕町通り商店街振興組合  
事務局長 林 健一



駕町通りオープニングパレード

いまの駕町通り一帯は江戸時代「高田原のお駕丁」と呼ばれていたそうです。

昭和47年5月に熊本市中央街商店街振興組合を設立、

平成4年6月に熊本市駕町通り商店街振興組合に名称を変更登記、現在に至る。

いって  
みなっせ!

商店街の組合員や青年部、女性部の皆さんが行きつけの  
お店を紹介するコーナーです!

## その9 和・GANSE

(ワガンセ)

熊本市中央区南坪井町 1-17 2F  
TEL 096-201-3693  
営業時間 17:30~24:00  
(定休日 月曜日)



新市街商店街(振)  
徳永 由美子氏

コラーゲンたっぷりの骨なし豚足 和やかな顔になってもらえたら!! 和・GANSE 店内  
今回ご紹介するのは、上乃裏通りにある和・GANSEさん! 和やかな顔をする事。  
和やかな顔になることを和顔施(わがんせ)というそうです。

トントントンと階段を上がると豪華なシャンデリアにアクセントの朱色など、妖艶な  
ムードが異彩を放つ空間演出!まさに大人の隠れ家。

この道30年のオーナーが作るのは厳しい目利きで選んだ旬の食材に創意を加えた和洋折  
衷料理。どのお料理も日本酒や焼酎などに合う味揃えでジャンルを問わない。遊び心と食  
べ終わったときの満足感に魅了されます。

特にオーナーオススのメニューは、自家製スティックからしれんこん、スプーンで崩  
れるほどトロトロな骨抜きにされた豚足、アツアツの厚揚げなど、音楽好きなオーナーが  
レコードジャケットをメニュー表にするユニークなアイデアも面白い!

美酒と共に大好きな方と大切な方と心ゆくまでくつろげる素敵なお店です。

※次回は、denkikanカフェの下山 裕さんが紹介します!

これよかばい!

## 株式会社長崎書店

代表取締役 長崎 健一  
〒860-0845 熊本市中央区上通町 6-23  
年中無休 営業時間 10時~21時  
TEL: 096-353-0555 FAX: 096-322-2245  
MAIL: info@nagasaki-shoten.jp  
WEB: www.nagasaki-shoten.jp



上通青年会 長崎 健一氏

弊社は長崎次郎書店(創業明治7年)の支店として、明治22年に上通に  
開業しました。

以来、文教地区・上通の書店として地域の皆様に支えられ、平成18年  
にギャラリー併設の書店としてリニューアルを行い、平成21年には3Fの  
倉庫だったスペースを「リトルスターホール」という多目的ホールラ  
リー・ホールでの多彩なイベントもお楽しみいただけましたら幸いです。



長崎書店 店頭



多目的ホール「リトルスターホール」

※次回は上通青年会唯一の女性会員、田中屋パン店の田中麻子さんが紹介します!

# 街なか写真館



全国から様々な大道芸パフォーマーに出演していただき、にぎやかな商店街になった。3月12(土)～13日(日) 場所:中心商店街



マッチフラッグワークショップ 下通アーケード(旧ダイエー前EGG)2月21日  
プロデューサー日比野克彦氏にお越しいたごき、埼玉スタジアムで行われるアフガニスタン(3/24)・シリア戦(3/29)のマッチフラッグを作成。

## 《受講申込み&お問い合わせ先》

発行

熊本県商店街振興組合連合会

熊本市中央区練兵町62 第2ロータリービル3F

TEL096-353-4666 FAX096-353-4577 E-mail info@kumanet.jp URL <http://www.kumanet.jp/>